

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業	
事業名	倉吉未来中心開館10周年記念事業 柄本明ひとり芝居「風のセールスマン」			
目的・内容	優れた演劇公演を鑑賞する機会を提供し、演劇観客層の拡大を図るとともに、セールスマンをモチーフにした作品を通じて、男性鑑賞者獲得に繋げる。			
開催日時	平成24年2月25日(土) 開演15:00			
会場	倉吉未来中心 小ホール			
入場料 (友の会・団体)	大人 3,500円 (2,500円)	高校生以下 1,000円		
集客状況	入場者数 272名	設定席数 291席	集客率 93%	
事業費状況	予算額	収入 940,000円	支出 2,562,000円	収支比率 37%
	決算額	収入 780,892円	支出 2,259,307円	収支比率 35%
来場者アンケート (主なもの) 回答者数 132名	<ul style="list-style-type: none"> ひとり芝居のすごさを感じました。また、こんな近くで一流の俳優の芝居が見られる幸せを感じました。 小ホールでしたが、ちょうどいい感じで見やすく良かったです。 鳥取県内でこのような素晴らしい芝居が見れてとても感動です。 初めて見たひとり芝居です。初めての作品がこの作品で大変良かった。 <ul style="list-style-type: none"> よくわからなかった。 夜はバスがないため来にくいです。良いものが来るので見たいのですが、車が運転できないため、鳥取へ行ってしまいます。 案内係の靴のかかとはコツコツしない方がよい。 			
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた演劇公演を鑑賞する機会を提供した結果、初めて演劇を鑑賞した方が49%あり、演劇鑑賞者の拡大に繋げることができた。また、友の会会員の価格を1,000円割引にして先行予約と合わせた特典に設定し、会員の新規入会増と継続更新を図り、わずかではあるが会員の入会に繋げることができた。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期にチケットが完売することを想定していなかったため、完売時の対応がスムーズに行えなかった。また、早々の完売により、テレビ広告の放映期間が短くなってしまった。キャパシティの小さい公演については、広報宣伝について見直しが必要である。 財団のマーケティング力を養う必要がある。 			
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民にとって、今回のような距離感の近い芝居に触れることができたのは良かった。 通常演劇公演にはでかけない人たちが来場しているようであった。マスメディアに登場する俳優による優れた舞台というのは、新たな観客開拓に繋がる可能性を多いに持っていると思う。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 完売の兆候があった時点からでも一般販売用のチケットが確保できるとよかった。 継続的に文化事業を行っている財団だからこそ、県民のニーズや変化を細やかに読み取りながら、意義ある事業への工夫・展開が必要である。 			
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度の倉吉未来中心小ホール公演については、開催概要作成の際に完売時の対応も決めておく。また、テレビ広告などをやめて、関係者への依頼や手売り、印刷物配布、無料の広報媒体の活用などで、広報・販売促進を行っていく。 「マーケティング部門」の設置については、財団の組織体制に係るものであり、今後検討していくこととするが、当面は友の会会員や一般県民を対象にアンケートを実施して、ニーズを把握するとともに、研修会の開催や参加を通じて、職員のマーケティング能力を高めていく。 			